

国際交流つうしん



国際フェスタCHIBA (P.4 事業報告)

目

次

- P.2 東京2020大会に向けて
- P.3 在住外国人の相談窓口から ～外国人が困っていること～
- P.4 事業報告 (平成29年3月～平成29年6月)
- P.5 今後の行事予定
あなたの街の国際交流・協力団体 ～イマジン・キモノ千葉～
- P.6 平成28年度事業結果
- P.7 JICA千葉デスクのページ
- P.8 千葉県から世界へ ～ボリビア多民族国～

広告

15th Anniversary

水野外語学院

日本語で日本語を勉強します。
いろいろな国の人と一緒に勉強します。
赤ちゃんが言葉を覚えるように、
楽しく、自然に日本語が話せるようになります。



MIZUNOGAIGOGAKUIN

〒272-0133 千葉県市川行徳駅前4-19-14
TEL: 047-397-9645 FAX: 047-397-3078

広告

「日本語を教える」としたら **スリーエーネットワーク**

イラスト満載！
日本語教師のための
活動アイデアブック

小山悟 著

楽しく、わかりやすく、役に立つ授業づくりのための活動集です。地域の日本語教室には、目的もレベルも様々な学習者が集まってきましたが、本書は、そのような学習者が一緒に楽しく効果的に学べるような活動を紹介し、授業の進め方を詳しく解説したものです。



本体2,600円+税
B5判 179頁
CD、CD-ROM各1枚付
978-4-88319-718-7

●『みんなの日本語』文法項目対応表付

最新刊や教材の使い方セミナーの情報等は <http://www.3anet.co.jp/>



東京2020大会に向けて



千葉県に在住する外国人はおよそ13万人以上、その総数は平成28年12月末現在、初めて県人口の2%を超え、平成25年末と比較すると23%も上昇しています。2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、地域で様々な国際交流が展開されることが予想されます。大会前後及び期間中、競技会場や選手村などにおける会場内の案内・誘導など、大会運営に従事する「大会ボランティア」と、国内外からの旅行者への交通案内、観光案内などを行う「都市ボランティア」の募集が、2018年夏以降に開始される予定です。オリンピック・パラリンピックについて理解を深め、選手がボランティアにどんなことを求めているのか考えてみませんか。今回は銚子市出身で、ロンドン2020大会パラリンピックの代表として円盤投げ、幅跳び、100m競技に出場した、渡邊紫帆さんに大会ボランティアについてお話を伺いました。

特別寄稿

パラリンピックが教えてくれたこと

ロンドンパラリンピック大会 陸上競技日本代表

渡邊紫帆

小学生の頃から陸上のオリンピック選手になることを夢見てきました。視覚障害が進行したのは高校生の時です。大好きな陸上を離れ高校も中退し、両親にはずいぶん悲しい思いをさせてしまいました。パラリンピックを目指すきっかけになったのは20歳の時、高卒の資格を取得しようと入学した県立盲学校の陸上部で、パラスポーツに取り組む仲間と出会えたことです。「パラリンピックに出て、支えてくれた両親に恩返しをしたい。もう一度夢を追いかけよう」と思いなおし、仲間とともに練習を重ねました。そして在学中に念願のロンドン大会への出場権を獲得しました。競技場は8万人の観客で満席でした。周囲が見えない状況の中、音だけを頼りに踏み切る「走り幅跳び」は、雑音があると非常に危険な競技です。ピットからスタート地点に入ると、トラックで行われている別の競技への観戦はピタッと止み、シーンと静まり返ります。着地するとその瞬間、8万人の大歓声で湧きあがりました。パラリンピックは私に希望や「ありのままの自分」を受け入れるチャンスを与えてくれ、今までに見たこともない新たな世界へ導いてくれました。競技場や選手村では、大勢のボランティアの方が「いってらっしゃい」「お疲れさま」と積極的に声をかけてくれます。「自分たちもパラリンピックを楽しんでいるよ」という雰囲気も伝わってきて、とても感動しました。東京大会で活動されるボランティアの皆さんには、日本特有の繊細さと気遣いで最高のおもてなしをして、オリンピック・パラリンピック選手だけでなく、訪れた世界中の人達を笑顔にしたいと願っています。そして誰もが「東京大会は素晴らしい大会だった」と、先に語り継がれていけるようなレガシーを築きあげていただきたいと思います。



紫帆さんのFACEBOOKをぜひご覧ください！

渡邊紫帆

検索



「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座 受講者募集！参加費無料

東京2020大会に向けて、外国人観光客の方々が安心して千葉県に滞在できるようサポートする力を身に付けませんか？ この講座では街中で困っている外国人の方を見かけた際に、道案内などの手助けをする方法を学びます。

- 応募資格 県内に在住・在勤・在学で15歳以上（中学生不可）他
- コース・定員 ①セットコース／おもてなしや異文化コミュニケーションを学ぶ「おもてなし講座」と初心者レベルの英語を学ぶ「語学講座」のセット。各回40名。②おもてなしコース／英検2級・TOEIC500点相当の語学力のある方向け。「おもてなし講座」のみ。各回60名。
- 会場・開催日程 成田市、一宮町、佐倉市、千葉市にて9月～開催（日程、会場詳細はHP参照）

- 申込方法 所定の申込期間中にホームページから申し込み、または申込書（HPからダウンロード）を郵送かFAX（申込多数抽選）
- 詳細問合せ・申込先
千葉県 県民生活・文化課 TEL 043 (223) 4147
〔千葉市会場問合せ・申込先〕
千葉市オリンピック・パラリンピック推進課 TEL 043 (245) 5295

外国人おもてなし語学ボランティア 千葉県

検索



東京2020大会に向けたボランティア情報を入手しよう！

千葉県国際交流センターのFACEBOOK開設！

当センター主催事業や、国際交流に関する情報発信のほか、各団体で主催するイベント、ボランティア活動情報の広報をバックアップする手段として運用します。開催イベント、勉強会メンバーやボランティア募集など、情報の告知にお役立て下さい。また、東京2020大会に関する情報やイベント、国際大会でのボランティア活動情報も随時更新して発信していきます。情報の掲載についてはお問い合わせください。



千葉県国際交流センター

検索



千葉県公式FACEBOOK

『ちばボランティア情報局』

大会開催時に交通・観光案内などのおもてなしを行う『都市ボランティア』の情報（2018年夏頃募集予定）や、2020年に向けた様々なボランティア関連情報を発信しています。ぜひ“いいね！”やフォローして最新情報を入手してください。



ちばボランティア情報局

検索



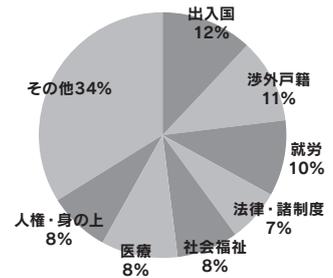


在住外国人の相談窓口から～出入国編～



千葉県国際交流センターが千葉県から受託している外国人テレホン相談には様々な問い合わせが寄せられます。相談項目毎に集計すると、外国人が何に困っているかを垣間見ることができます。その中で毎月、例外なくトップを占めるのが「出入国」に関する問い合わせです。「出入国」とは、外国人が来日し、日本に滞在あるいは居住する中、避けて通れない「在留資格」に関わる手続きのことです。外国人固有のもので、日本人のみなさんには思いもよらない、なかなか厄介な「出入国」に関わる相談について、ご紹介します。

【相談種別】



1. 在留資格の新規取得

生活の拠点を日本において働いたり学んだりする外国人は、その目的に応じて該当する「在留資格」を取得しなければなりません。そのためには日本側の身元引受人が労をとって必要書類を用意し、受け入れの御膳だてをします。このケースでは結婚した日本人男性が身元引受人になって手続きを進める必要があり、外国人単独ではできない仕組みになっています。



【相談事例①】

日本人のAさんは、B国で婚生活を挙げた新妻をいよいよ日本に呼び寄せることにしました。来日するには「日本人の配偶者等」のビザが必要です。入管に申請するのにどのような書類が必要か、問い合わせしてきました。

2. 在留資格の更新

「在留資格」を取得して順調な生活を営んでいても、「在留資格」には有効期間があるため、期限前に「更新」をしなければなりません。このことはみなさん万全の注意を払っていますが、更新のたびに一連の書類を揃えて入管に出向くのですから、一大行事です。有効期間は「在留資格」により異なります。一般的には最初の有効期間は1年、次の更新で3年が与えられる場合もありますが、1年更新がずっと続く場合や、更新を却下されることもあります。

【相談事例②】

C国籍の妻と結婚して9年。結婚当初、配偶者の在留資格を1年、3年と更新しましたが、その後、うっかり更新しないまま6年近くが過ぎてしまいました。これから入管に行って手続きをするつもりですが、罰則はあるのでしょうか。

3. 在留資格の変更

日本で生活している中で境遇が変わり、それに伴い「在留資格」を変更しなければならないことがあります。留学生が就職して社会人になったり、日本人と結婚して「日本人の配偶者等」になったり、不幸にして離婚し「日本人の配偶者等」から新たに別の在留資格に変更を余儀なくされる場合などです。変更ができればいいのですが、該当する在留資格がないと日本を去るしかない場合もあります。



【相談事例③】

D国籍のEさんは、日本人の奥さんと結婚して「日本人の配偶者等」の在留資格を付与されました。建設現場で安定した仕事を得て2人の子供にも恵まれましたが、奥さんと離婚。親権は奥さんが取ったため、在留資格の更新が不許可となり、他に該当する在留資格がないことから、帰国するしかないと言われました。

4. 永住申請

日本滞在が長期化し、いよいよ日本に定着することを考える時、永住申請が現実味を帯びてきます。日本の在留資格は大別して従事する活動に基づくものと、日本人と婚姻・血縁関係にある等、有する身分や地位に基づくものの、2つに分類されます。永住申請をするために、前者は10年の在留実績が求められますが、後者は、更新で3年以上の有効期間を認められると、3年～4年の在留実績で申請ができます。ただし、年数だけが条件ではありません。善良な住民として経済的にも安定していることが求められます。

【相談事例④】

F国籍のGさんは、日本人の夫と結婚して10年、2人の子供がいます。夫が重度障害を負い生活保護を受けています。先行きに不安を感じ、過去2回、永住申請に挑戦しましたが認められず、夫は自分の看護と生活保護が妨げになっているなら離婚しても構わないと言いますが、子供は父親と離れたくないと言うし、自分も別れたくない。生活保護を受けているから永住権が許可されないのでしょうか。

千葉県国際交流センター 事業報告 (平成29年3月～6月)

◆中国語通訳連絡会議を開催しました！ 3月29日

千葉県が在住外国人に提供する「外国人テレホン相談」では、中国語による相談は、自宅に待機する中国語通訳と電話をつないで、相談者⇄通訳者⇄相談員による三者通話の形式で進めます。正確に通訳してもらうには的確な知識が必要です。年間を通して活動する8名の中国語通訳を招いて、研修を兼ねた連絡会議を開催しました。

◆国際協力パネル展 4月18日～24日

千葉県ユニセフ協会、千葉県、JICA東京と共に、そごう千葉店ギャラリースペースで国際交流パネル展を実施しました。パネル展では、各団体の取り組みを写真やパネル、配布資料を使って紹介しました。

◆国際フェスタCHIBA・今年度も神田外語大学で開催！ 5月27日

5月27日に神田外語大学にて、学生ボランティア団体による「第13回幕張チャリティー・フリーマーケット」と同時開催で実施し、1,500名の方にお越しいただきました。今年は国際交流・国際協力に関わっている全25団体が出展し、各団体の活動紹介のほか、世界各国の雑貨・料理・フェアトレード品等の販売、落語、着物の着付け、発展途上国の問題についてのプレゼンテーションなどを行っていただきました。当日は天候にも恵まれ、世界各国の民芸品などを景品としたスタンプラリーやアフリカンダンス・民族音楽パフォーマンスなども大いに盛り上がりました。出展団体や神田外語大学の学生や教職員の方々のご協力のもと、来場者に国際交流・国際協力に親しんでいただけたイベントとなりました。



◆日本語ボランティア基礎講座 in 千葉

6月28日・7月5日・12日・19日・26日・8月2日/全6回

日本語ボランティア基礎講座を、今年は千葉市で実施しています。この講座は、毎年1回、日本語ボランティアをこれから始めたい方、ボランティア初心者の方を対象に、県内の各地域で実施しています。今年も金子広幸先生をお招きし、6回の講座を行います。初回のクラスでは、「外国人の日本語の習い方」や、中国語を使った自己紹介を通して、外国人の気持ちを体験する活動を行いました。今後の講座では、「やさしい日本語」の使い方、例文を作る活動、文法など、盛りだくさんの内容を予定しています。初回の受講者からの感想では、『学習者の立場に立ったことで、「教え方」に今はこだわらず、共感できるところからスタートしたいと思いました。』など、今後の活動につながるコメントが多数寄せられました。講師：金子広幸先生（法政大学ESOP交換留学生 日本語クラス講師）



ボランティア活動報告～皆さん ありがとうございます！

事業ボランティア

5月27日 国際フェスタCHIBA

事業ボランティア6名が神田外語大学内のエントランスで、プログラム等の配布等を行いました。暑い中にも関わらず、積極的に来場者に声をかけて下さっていた皆さんの姿が大変印象的でした。おかげ様で、たくさんの来場者にお越しいただくことができました！



語学ボランティア

5月20日から25日の6日間、今年も幕張メッセでJpGU-AGU Joint Meeting2017(日本地球惑星科学会議)が開催されました。会議には語学ボランティア18名が参加し、エントランス付近受付での会場内の案内、プログラム配布や入館証のチェックなどを外国語で対応していただきました。



日本語ボランティア

6月9日～7月14日までの期間、日越EPA協定に基づくベトナム人看護師、介護福祉士候補者へ日本語研修をサポートする会話相手役として、当センター登録の日本語ボランティア・語学ボランティア合わせて56名が参加しました。

ちば出前講座

- ◆イタリア出身のアントニオ・マイツァさんが5月28日(日)に、東金少年自然の家のイベントに参加し、子供たちと保護者20名とピザを作って交流しました。
- ◆JICAボランティアとして看護師の職種でタンザニアに派遣されていた鎌田 佳春さんが6月19日に亀田医療大学で国際協力の動機や課題解決戦略の方法などについて講演を行いました。

土曜開催が
増えました!

H29 通訳ボランティア養成講座 後期募集を10月より受付開始!!



2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に海外から訪れる多くの旅行者の対応に向けて、広域的に活動できる通訳ボランティアを養成するための講座を7月から開講しています。今年度の講座では、ロンドンオリンピックのフェンシング競技に、選手として出場した千田健太さんをお招きして、ルールや競技について紹介していただきます。後期日程の受講者の募集は、10月よりHPにて開始します。まだ受講されていない方、ぜひご応募ください!(*前期募集はすでに終了しています。)

D 会場	E 会場	F 会場
千葉県国際交流センター	千葉県国際交流センター	松戸市民劇場
11/11 (土) 英語 20名	12/9 (土) 英語 30名	1/24 (水) 英語 35名
11/18 (土) 韓国語 10名	12/16 (土)	1/31 (水)
11/25 (土)	12/23 (土)	2/7 (水)

今後の行事予定

事業	内容	日程
外国人のための無料法律相談	外国人の生活上の法的問題に弁護士、行政書士が対応	原則毎月第1月曜
国際理解セミナー	一般県民に向け、国際理解を図る講座を開催	10月17日
国際交流・協力等ネットワーク会議	民間国際交流団体や市町村国際交流協会担当者による情報交換	10月17日
コミュニティ通訳研修	在住外国人の生活支援に役立つ、基礎的事項を学ぶ講座	10月~11月を予定
災害時外国人サポーター養成講座	災害時に外国人をサポートする人材を育成する講座	11月を予定
日本語ボランティア・スキルアップ講座	日本語ボランティアが日本語指導の質の向上を図る講座	11月~12月を予定

あなたの街の国際交流・協力団体

イマジン・キモノ千葉 代表 八子由理子



国際フェスタCHIBAにて

こんにちは。イマジン・キモノ千葉です。私たちイマジン・キモノ千葉は、着付け講師3人による団体で「船橋市民2000人でデンマークのKIMONOをつくろう!」というプロジェクトを行っています。「1人1000円の寄付を2000人集めて、KIMONO制作費200万円を集める!」という活動の一環として、今回の「国際フェスタCHIBA」に初めて参加しました。洋服の上からKIMONOを着る「着付け体験」では子供たちをはじめ、皆さんにとっても喜んでいただき、おかげさまで好評を博しました。私たちは昨年11月から今年2月まで、デンマーク出身の方と市民間で交流をはかり、デンマークと日本のことについて学び、デンマークをイメージした振袖のデザイン案を考えました。現在KIMONOは染めの段階に入り、制作中です。

このプロジェクトが立ち上がったのは、2020年のオリンピックが東京に決まったあとのことです。ある呉服屋さんが、「着物を通じて何かオリンピックに貢献できないだろうか…、参加国をイメージした着物を作って、世界の人をおもてなしするのはどうか。」と、考えました。それが「イマジン・ワンワールドKIMONOプロジェクト」です。その思い

に共感した人の輪がどんどん広がり、今では57ヶ国のKIMONOがつけられています。イマジン・キモノ千葉は、そのプロジェクトを支援するために設立されました。船橋市ではデンマークのオーデンセン市と交流をしており、「アンデルセン公園」も市民に大変親しまれています。そこで、デンマークをイメージしたKIMONOをつくろうと、私たちのプロジェクトがスタートしました。折しも今年はデンマークと日本の外交関係樹立150周年。寄付をして下さった方々一人一人の思いを乗せたデンマークのKIMONOは、今年の秋に完成予定です。デンマーク出身の方々も楽しみにしてくれています。

日本が誇る「KIMONO」と「国際交流」、本当に素敵なマッチングだと思っています。他の国のKIMONOも、まだまだたくさんあります。ご興味がおありになる方はぜひお問い合わせください!

<https://www.facebook.com/Funabashi2000/>



着付け体験の様子

千葉県国際交流センター 平成28年度事業結果

千葉県国際交流センターが実施した、平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の主な事業結果は、次のとおりです。各事業の詳細については、当財団HPでもご覧いただけます。http://www.ccb.or.jp/about/management

1 国際交流・国際協力・多文化共生社会づくり

(1) 情報提供事業

<ホームページによる情報発信>

・在在外国人のための生活情報や相談業務、国際交流ボランティア制度、民間国際交流団体及び日本語教室、国際協力情報等を紹介しました。
(HPアクセス数：69,941回)

<メーリングリストの運営>

・県民や民間国際交流団体、ボランティア等が、国際交流・協力等に関する情報を交換するための、メーリングリストを運営・管理しました。(参加者数：528名)

<会報「国際交流つうしん」の発行>

・センターの事業や民間国際交流団体の活動等を紹介しました。
(年3回 / 発行部数：10,000部)

<「国際交流伝言板」の発行・配信>

・民間国際交流団体や、行政機関の事業（イベント・募集）等を、多言語（日本語・英語・中国語・スペイン語）で、情報提供しました。(年3回)

<千葉県外国人学生住居アドバイザー事業>

・千葉県と連携して、外国人学生に対し住宅に関する情報を提供しました。(アドバイザー：39店)

(2) 在在外国人支援事業

<外国人テレホン相談>

・多言語（日本語、英語、スペイン語、中国語）による電話相談を実施し、在在外国人からの日常生活相談に広く応じました。(相談件数：1031件)

<外国人のための無料法律相談>

・弁護士等を招いて、外国人が抱える法律問題の解決に向け支援しました。
(原則月1回・7月、1月は土曜開催 / 相談者数：42名)

<多文化共生サポート制度の運営>

・医療、福祉、教育等による生活支援を要する在在外国人に対し、語学ボランティアを紹介。必要に応じてボランティア活動費の支援を行いました。(紹介件数：26件)

<災害時外国人サポーター養成講座>

・千葉県、松戸市と共催し、多言語支援センター設営及び避難所巡回訓練等を実施しました。
(1月、2月・全2日 / 参加者数：延161名)

<通訳ボランティア養成講座>

・東京オリンピック・パラリンピックに向け県内での外国人支援体制の充実を図るための通訳ボランティアを養成する講座を実施しました。
(7月～2月・全3日・6会場で実施 / 参加者数：174名)

2 多文化共生時代のネットワークづくり

(1) ボランティア制度等の運営

<国際交流ボランティア制度の運営>

・国際交流に参加するボランティアを募集・登録するとともに、活動の場を紹介しました。(平成29年3月末現在・ボランティア登録者数：語学1,349名、ホストファミリー332家庭、文化253名・日本語121名、事業73名)

(2) ボランティア育成・国際理解促進のための講座

<日本語ボランティア基礎講座 in 印西>

・在在外国人に日本語を教えながら交流したいと希望するボランティアを対象に、印西市で開催しました。
(6月・全4日 / 参加者数 24名)

<日本語ボランティア・スキルアップ講座>

・日本語ボランティアとして更なる資質向上を目指す方を対象に、講座を開催しました。
(12月・全2日 / 参加者数：53名)

<コミュニティ通訳研修>

・通訳ボランティアが行政サービスの基礎的知識について学ぶ研修を開催しました。
(10月～11月・全4日 / 参加者数：55名)

<国際理解セミナー>

・外国の文化や、考え方について理解を促進するための講座を開催しました。(7月、8月、2月・計3回 / 参加者数：延196名)

<国際協力パネル展>

・国際協力や国際理解の意識を高めるため、関係機関と合同でパネル展を実施しました。(7月)

<ちば出前講座>

・JICAと連携し、JICAボランティアOB/OGや、在在外国人を学校や公民館等へ紹介、開発途上国や出身国での体験等を語ってもらう講座を実施しました。(開催件数54件、参加講師：JICA関係者35名、在在外国人29名)

<国際フェスタCHIBA>

・神田外語大学にて、国際交流・協力団体の活動紹介及び、ステージパフォーマンス等を行いました。
(5月 / 出展団体：28団体 来場者数：1,350名)

(3) 様々な主体との交流・調整事業

<国際交流・協力等ネットワーク会議>

・県内の行政機関、民間国際交流団体や、地域の国際交流協会等を対象に、実施事業の周知や、活動に関する情報・意見交換のための会議を実施しました。(7月 / 参加者数：36名)

<外国人相談担当者意見交換会>

・在在外国人からの生活相談等に応じている担当者を対象に、相談に役立つ知識の習得と情報共有、及び意見交換を行いました。(7月 / 参加者数：21名)

<外国につながる子どものための日本語ボランティアの集い>

・日本語を母語としない子どもを支援するボランティアに対し、講演等を実施しました。(2月 / 参加者数：29名)

<国際交流サロンの運営>

・センター内に国際交流・協力を目的とした活動や交流の場を提供しました。(利用回数：141回 / 利用者数：1,126名)

<インターンシップ受け入れ>

・学生の職業意識の向上及び国際交流・協力に関する理解促進を図るため、県内の大学から2名の学生をインターンとして受け入れました。(8月)

<国際交流事業への後援>

・県内の国際交流団体等が実施する10件の国際交流事業に対し、後援名義の使用承認を行いました。
・ブラジル、アルゼンチンの千葉県人会に対し、千葉県と共に活動に対する補助を行い、交流を推進しました。

<各種関係機関・団体との連携>

・法人・任意の4団体の構成員として、国際交流・協力の推進に参画しました。
・各関係機関との情報交換等を目的とした会議に出席し、情報・意見交換及び、ネットワーク形成の強化に努めました。
・県内の国際交流団体が発するイベントに参加協力を行いました。

NPO／NGO向けJICA事業の紹介

JICAが実施する「市民参加事業」には、日本のNGO／NPO等の団体の皆さまにご参加いただける様々な事業があります。今回は、NGO／NPO等の人材能力強化のための研修、NGO／NPO、自治体や公益財団等の団体が有する経験や技術を活かして自ら企画した開発途上国への協力活動を、JICAと共同・協働で実施する草の根技術協力事業をご紹介します。

【事業マネジメント研修】

■研修の構成：基礎編、立案編、実用編

基礎編と実用編では、国際協力事業に携わるNGO／NPO、地方自治体、大学等の方を対象として「PCM」の手法を学んでいただきます。基礎編と実用編は国内での研修（座学が中心）です。立案編は、海外での実地研修を含む内容です。

■PCMはプロジェクト・サイクル・マネージメントの頭文字をとったもので、事業の計画・立案から実施、終了後のモニタリングまでの一連のサイクルを運営するための、事業運営・管理の一つの手法です。国際協力事業のみならず、日々の業務のマネージメントや団体運営の課題発見・解決にもお役立ていただけます。

■研修時期：2017年度は9月以降に開始予定です。詳細はJICA東京ホームページで順次ご案内します。

【草の根技術協力事業】

<草の根パートナー型>（国際協力の経験が豊富な団体向け）

■提案受付：年2回／事業規模：総額1億円以下／実施期間：5年以内

■対象団体：日本国の法人格を有するNGO等非営利団体、大学、公益法人、民間企業（非営利目的）等

<草の根協力支援型>（国際協力の第一歩を踏み出す団体向け）

■提案受付：年2回／事業規模：総額1千万円以下／実施期間：3年以内

■対象団体：任意団体を含むNGO等の非営利団体、大学、公益法人等（民間企業不可）

<地域提案型／地域活性化特別枠>（自治体と協力して実施する場合（提案団体は自治体です））

■提案受付：年1回程度／事業規模：3,000万円または6,000万円／実施期間：3年以内

■対象団体：自治体（ただし、実施団体は自治体が指定するNGO／NPO、公益法人等団体でも可）

HP：<http://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>

JICA研修員 千葉ロッテマリーンズ試合観戦

5月26日、千葉県内で統計分析の研修に勤しむ中東・アフリカ・大洋州・アジアからのJICA研修員が千葉ロッテマリーンズ様よりご招待を頂き、本拠地・ZOZOマリンスタジアムへ野球を観戦しに行きました。対戦相手は強豪オリックス・バファローズです。

最初はどちらのチームを応援するのかさえ良く分からなかった研修員ですが、白熱する試合と盛り上がる応援に刺激され、次第にエキサイトしていました！！初めて見る美しい花火にも感動。興奮と喜びを抑えきれない様子でした。スタジアムに来ていた子供達にとってJICA研修員一同は異国の地から来た彼らがヒーローやヒロインに見えたらしく、サインを求められていました。

試合結果は、5対4で千葉ロッテマリーンズの勝利！帰りの時間の関係で最後まで試合を見届けることが出来なかったものの、研修員にとって一生の思い出になったようです。研修員たちのあふれんばかりの笑顔が印象的でした。



千葉県国際交流センター内 JICA千葉デスク 国際協力推進員 永井 大策
TEL：043-297-0245 FAX：043-297-2753 E-mail：chiba-desk_nagai@friends.jica.go.jp



JICA千葉デスク Facebookページ 皆さんの「いいね！」をお待ちしています。

<https://www.facebook.com/JicaChibaDesk>



千葉県から世界へ!

ボリビア多民族国



※外務省ホームページより引用

流山市出身の森下徳顕(のりあき)さんは、柏市サッカー協会所属の柏マイティーFC(尚マイティー・スポーツクラブ)より現職参加で、2017年1月からJICA ボランティアとしてボリビアで活動しています。職種はサッカー指導です。

世界遺産の街 ボリビアスクレ市

日本では“ウユニ塩湖”がとてとても有名な南米の国「ボリビア」! 南アメリカ大陸のほぼ中央部あたりに位置し、ブラジル・アルゼンチン・パラグアイ・チリ・ペルーに囲まれた、海のない内陸国です(国土面積:日本の約3倍、公用語:スペイン語、人口:約1100万人)。4000m以上の山々が連なるアンデス高地をはじめ、熱帯雨林やサバンナが広がる低地を含むなど、実に多彩な自然環境に恵まれています。

私の赴任先は、ボリビア多民族国(正式名称)の南に位置するチュキサカ県スクレ市。憲法上の首都となります(最高裁判所があるだけで、その他の国家機関は、ほぼ事実上の首都、ラパスに集まっています)。ここスクレ市は、ボリビア国内でも治安は良いとされ、私自身も、とても過ごしやすさを感じています。16世紀に建造されたコロニアル様式の歴史的な建物とたくさんの商店がたち並び、情緒あるとてもきれいな街並みです!1991年その街並みの美しさからユネスコによって世界遺産(文化遺産)にも登録されています。



市のリーグ戦への帯同・引率風景

ボランティア活動について

配属先のNGO南ボリビアスポーツセンターは、青少年に対するスポーツ(サッカーを中心にフットサル、体操、キックボクシング)の指導に特化したNGO団体です。サッカー指導を通しての健全な青少年の育成を目的として、それを達成するために様々な角度からアプローチしていきたいと考えています。また、規律・ルールの大切さを伝えていきたいです。

現在は7月に当スポーツセンター主催で行われる手作りの“第2回招待大会(サッカー大会)”の準備・雑務に追われている毎日です!

サッカー指導・大会の企画運営だけでなく、今まで自分がやったことのない“招待大会の営業活動・広報活動・その他さまざまな雑務”等々もやらせてもらい、何もかもが自分達で一から手作りで行う活動となり、途上国ならではの、とてとても良い経験になっております!!



当スポーツセンターが主催する第2回招待大会の会見風景



第2回招待大会のポスター貼り

【主な業務内容】

NGO南ボリビアスポーツセンターにて、青少年に対するスポーツ指導、特に現地のコーチ方と協働して選手達へのサッカー・フットサルのトレーニングの実施。中長期的なサッカーのトレーニングプランの改善、指導者としてリーグ戦へ参加。

広告

入管手続きは行政書士にお任せ下さい。

申請取次行政書士に申請依頼をすると、申請人本人は**入国管理局への出頭が免除**されるので、**仕事や学業に専念**することが可能です。



お問い合わせは...

千葉県行政書士会

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目13番10号
TEL: 043-227-8009 FAX: 043-225-8634

SPORTS CONCIERGE TIME

— メールマガジン購読のご案内

千葉県スポーツコンシェルジュでは、県内各地で開催されるスポーツイベントや、海外スポーツチームの強化合宿のスケジュールなどの情報などを週1回、毎週木曜日にダイレクトメールで配信を行っています。購読をご希望の方は、メールアドレスをご登録下さい。(登録無料)

登録先 E-mail 2020conciierge@ccb.or.jp
問合せ TEL 043-297-2754

(千葉県スポーツコンシェルジュ担当: 沢)



公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14F
TEL:043-297-0245 FAX:043-297-2753 E-mail:ied@ccb.or.jp

<http://www.mcic.or.jp/へgo!>

センター事業の紹介、最新ニュース、講座やイベントなど役立つ情報を掲載。

年3回発行
(7,11,3月)